

DARKER than DARKNESS

暗闇よりも暗い闇が
自分の中にあると
気が付いたのは随分前で
それがいつからなのかは
もう思い出せない。



はあっ…アルウ……っ

あっ…んん…

はあ…



兄さん

ボクも
嬉しいよ

ボクに分まで
気持ち良くな
ってね…?

あッ…ッ

アル…ッ

ゴメン…な
…アル…

ごめん……

謝らないで
兄さん…

兄さん…



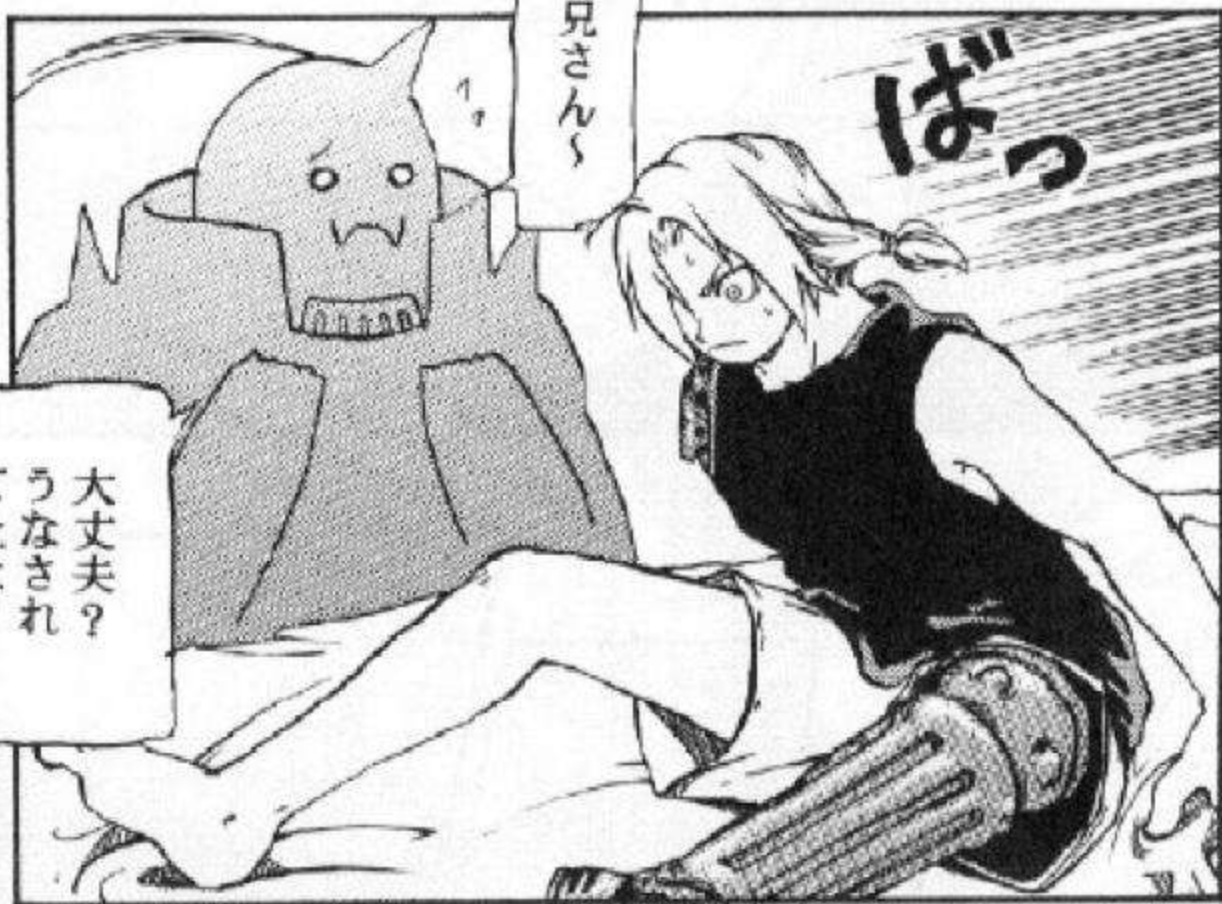
兄さん起きてー!



兄さん!



悪い夢…?



兄さん

大丈夫?
うなされ
てたよ?

ばっ



ああ…

ごめんな…
アル…

あんな夢
見るなんて

バカだオレ。
どうかしてる…

石を探しはじめて
もう3年...

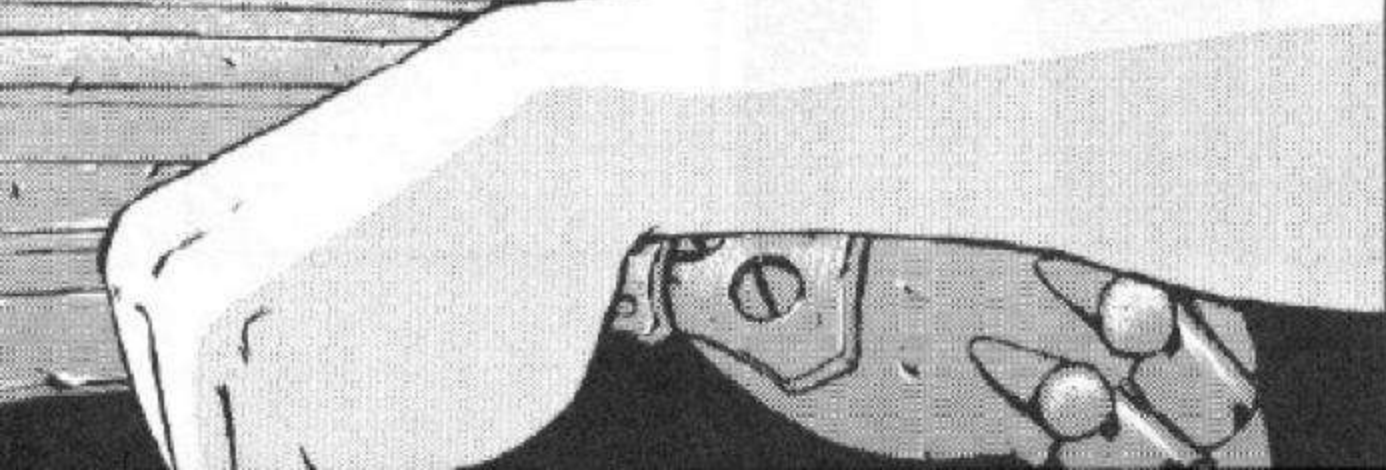


オレが
あんな夢るよう
になったのは
ここ1年...

...もちろん



アルは
気付いていない



夜な夜な
見る夢に
打ちのめされる

兄さん
ご飯食べる
よね？

うん

下で
用意して
もらうよ？

うん

か、
顔洗って
降りて
きてね？

うん

ひどい
罪悪感と

底のない欲望

アルの指に

声に

乱される
快感…

バシバシ



アルには！
言えるわけが
ない

アルフォンスは
たった一人の弟で

あまりにも
かけがえの
ない人だから

あいつを見る
オレの眼差しに
そんな暗い欲望が
混じっていると
知ったら…

全てが
壊れるのは
わかっているから
…





だから決して
知られては
ならないのだ

なーアル

オレ図書館に
行くついでに
街をブラブラ
してくるけど
どうする？

うーんと



いつてらっしゃら

どうせ
閉館まで
気づかない
だろうけど...

うーん



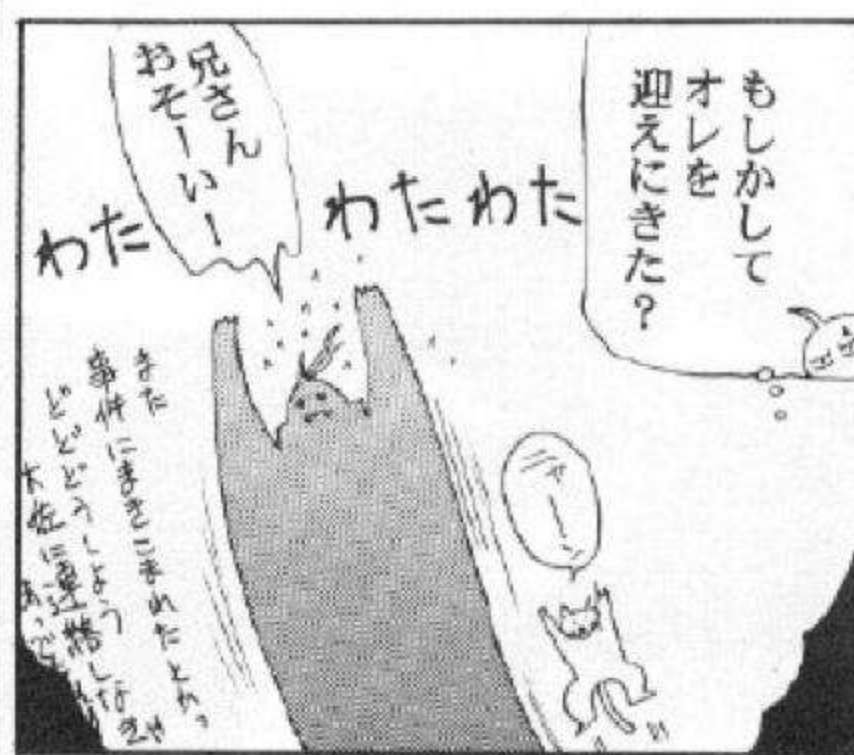
宿のおかみさんに
色々直して
欲しいって
頼まれてるん
だよ

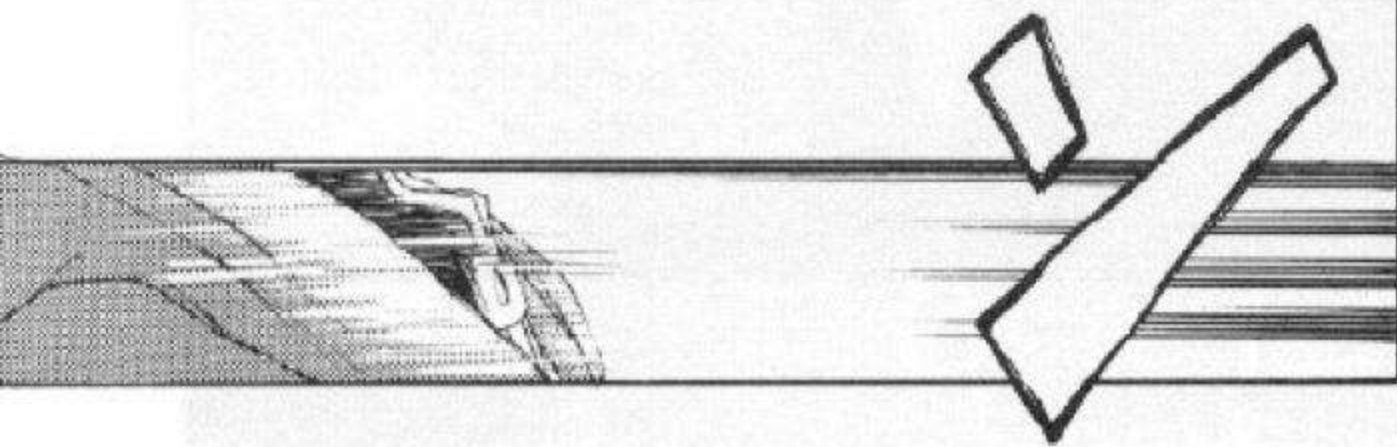
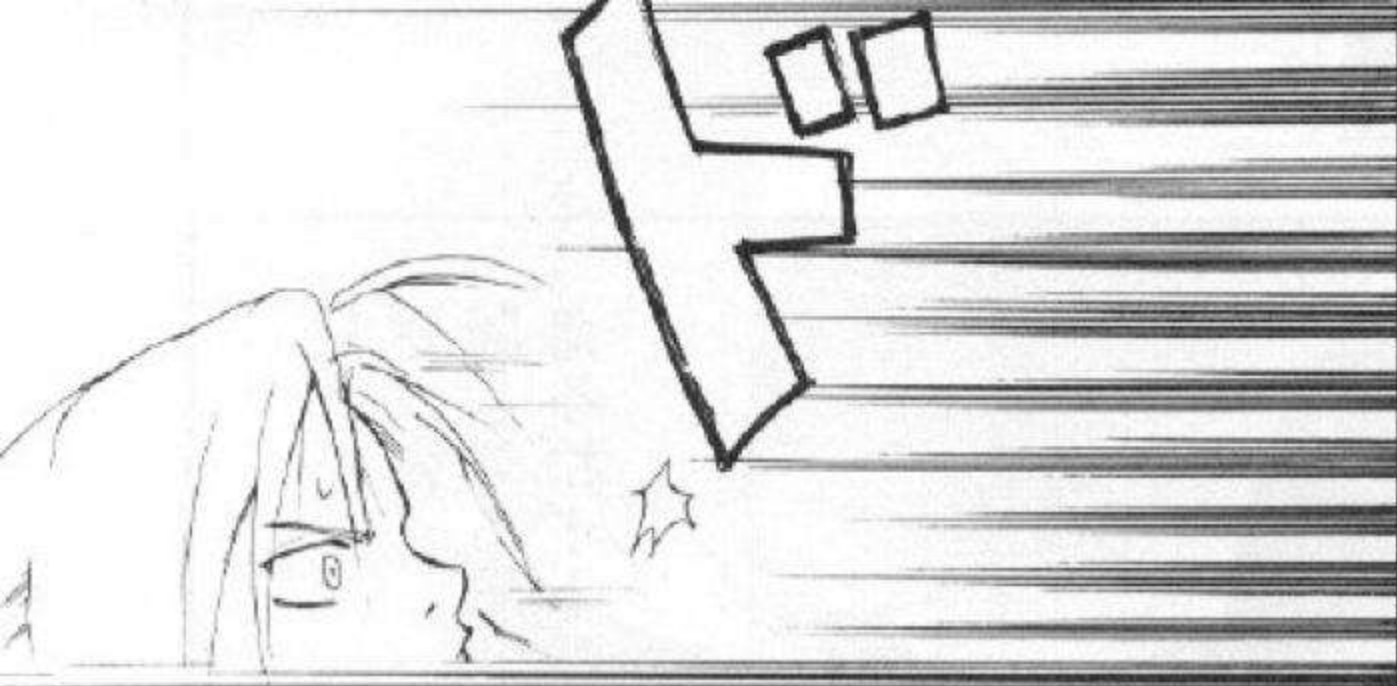
そっか

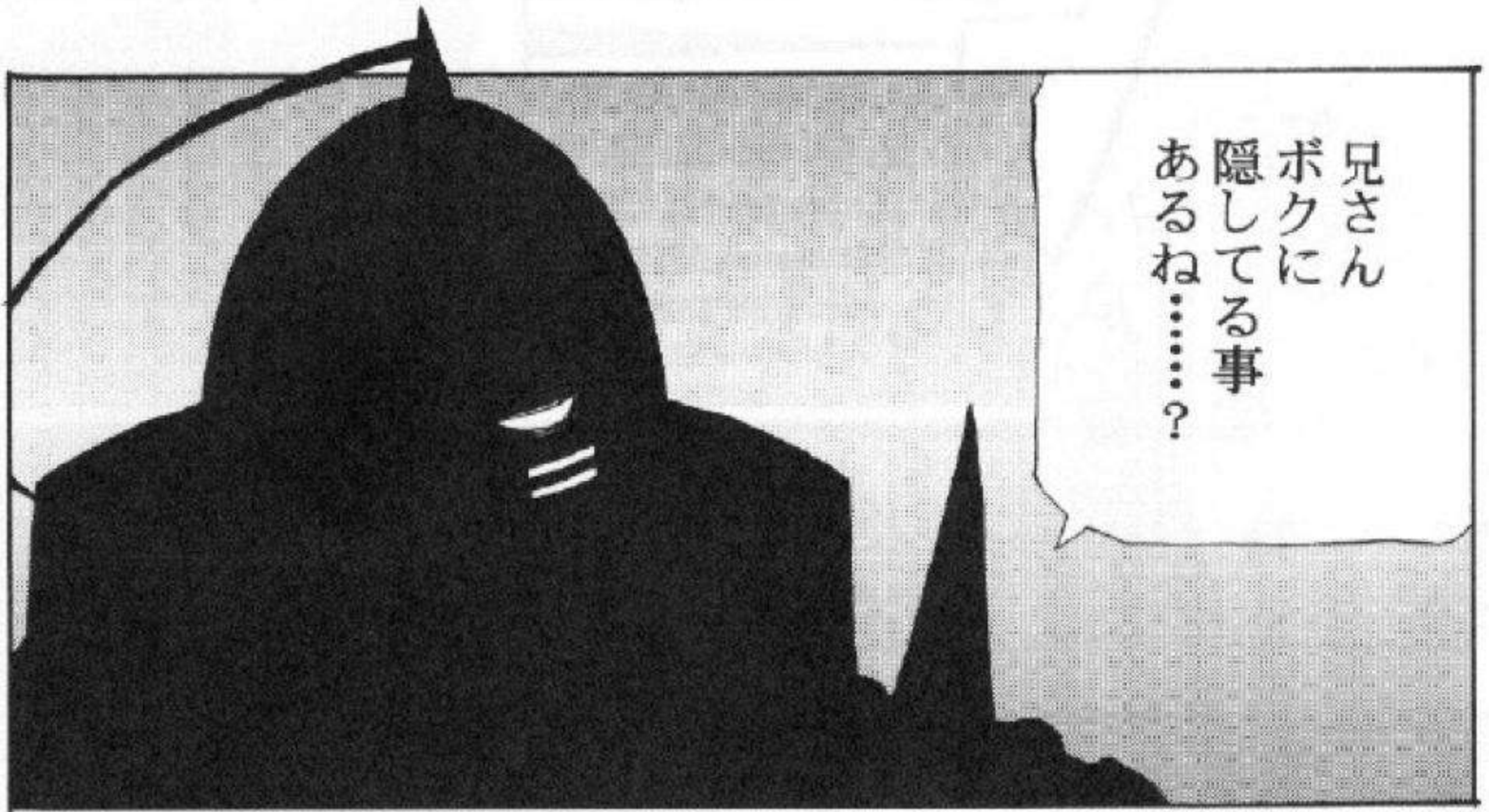


んじゃオレ
ちよつくら
行ってくる









兄さん
ボクに
隠してる事
あるね……？



ああ？
何言ってるんだ
隠してる
事なんて……



隠しても
わかるよ

兄さんが
ボクのこと
どう思ってるか





まさか…
まさか……

ねえ兄さん

兄さんは
ボクの鋼の
指で
触られるのが

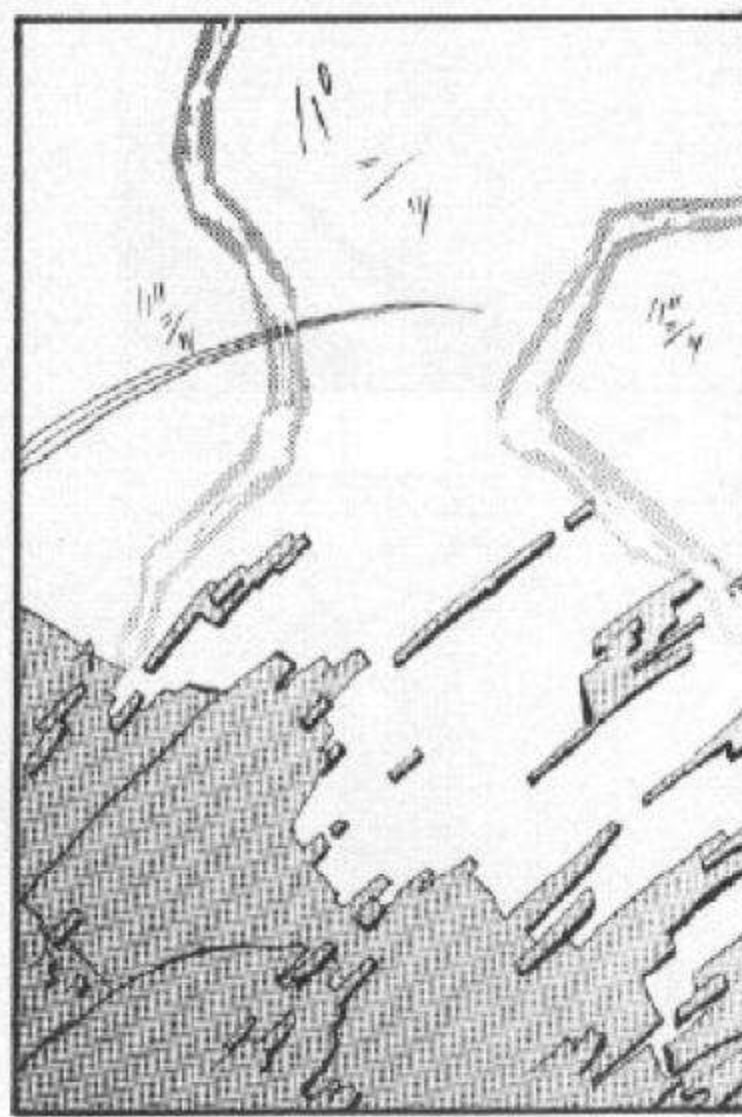
な、なんで

好きなの？

冷たい指で
中を
挿き回されるの
好き？

気持ちいい？

ねえ？
兄さん？

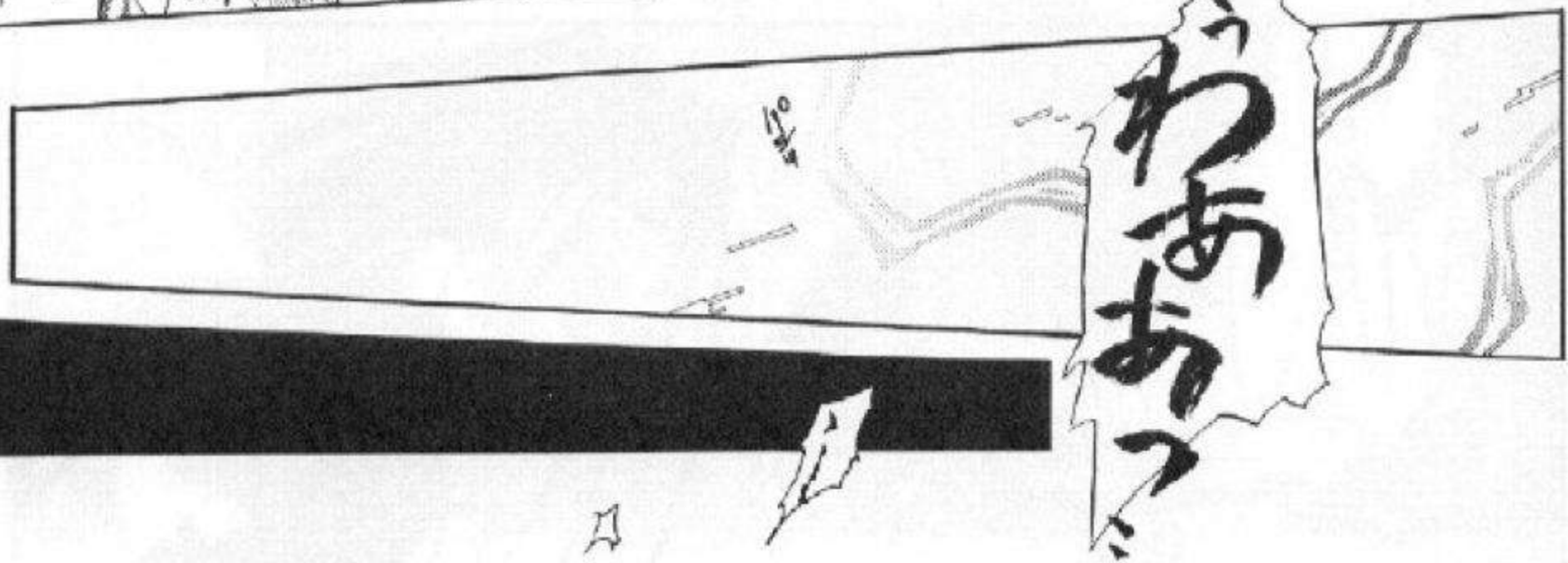


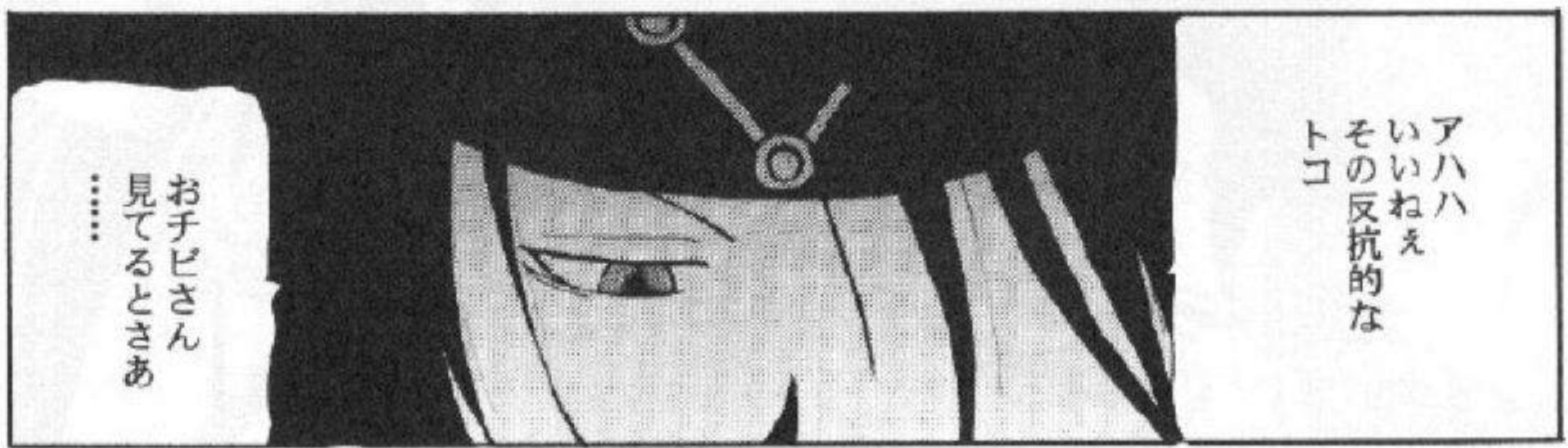
綱のオチビさん
ひさしぶりに♡

!!



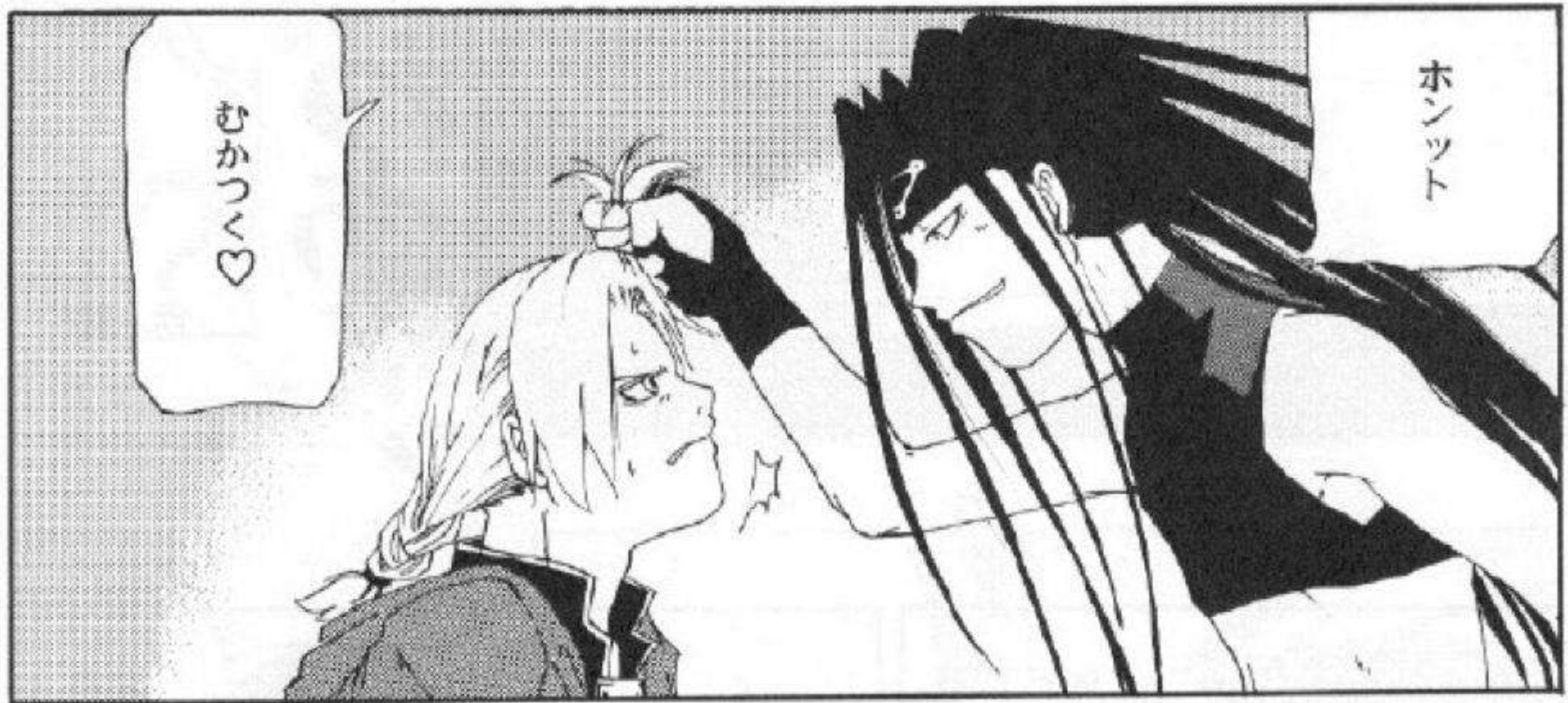






アハハ
いいねえ
その反抗的な
トコ

おちピさん
見てるとさあ
……



ホント

むかつく♡



!?

そーゆートコが
お気に入り
なんだけどさ





兄さん……？



しーん

あれ？



確かに今
気配を
感じたけど……

おかしいな

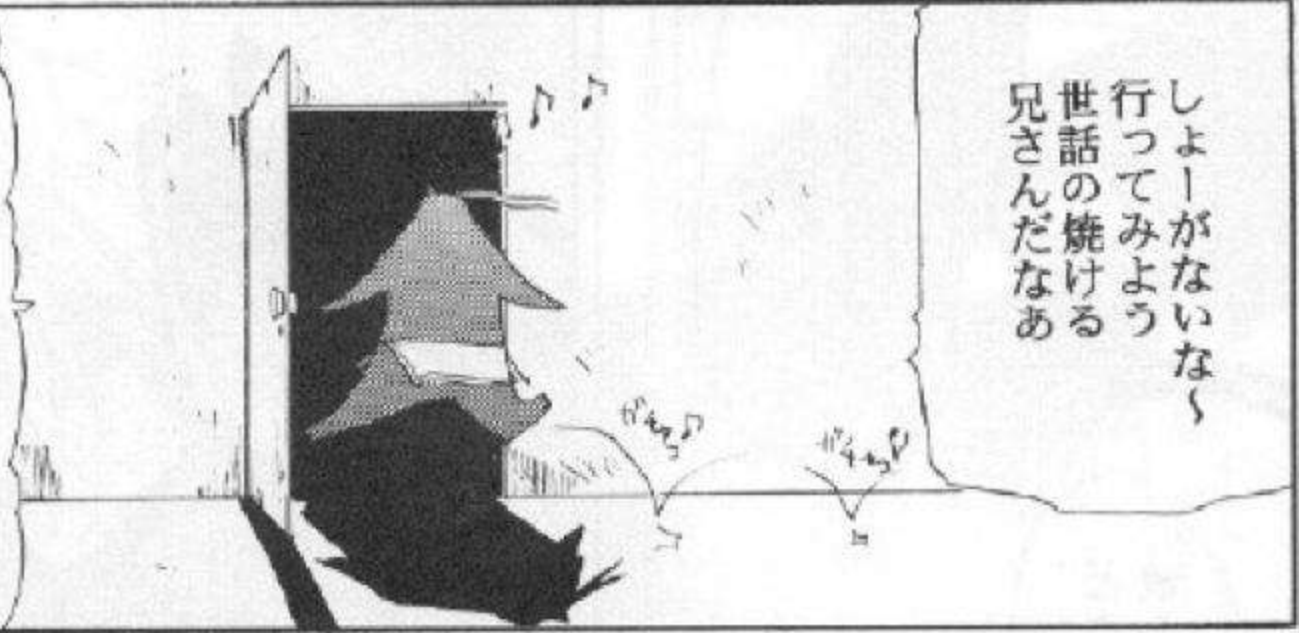


もう図書館も
とつくに
終わってるし……

本でも借りすぎて
立ち往生してたり
してね……

迎えに行ったほうが
良いかなあ

しよーがないなく
行ってみよう
世話の焼ける
兄さんだなあ



ま、
そこが
かわいい
んだ
けどね



えーっ
ダメ
ダメー



テメー…
もっ…あつ…
い…加減…ツ

くっ…

こんなにしちやってるのに
その言い草は
無いんじゃない？

はっ…アッ…
も…う…

もう？
もうダメ？

バシ

どうして
欲しいの？

…兄さん…

ごめん…アル

オレの願が…

オレの欲が…

そして
お前の姿を
したものに

抗えるほど
オレは強くない

ア…ル…



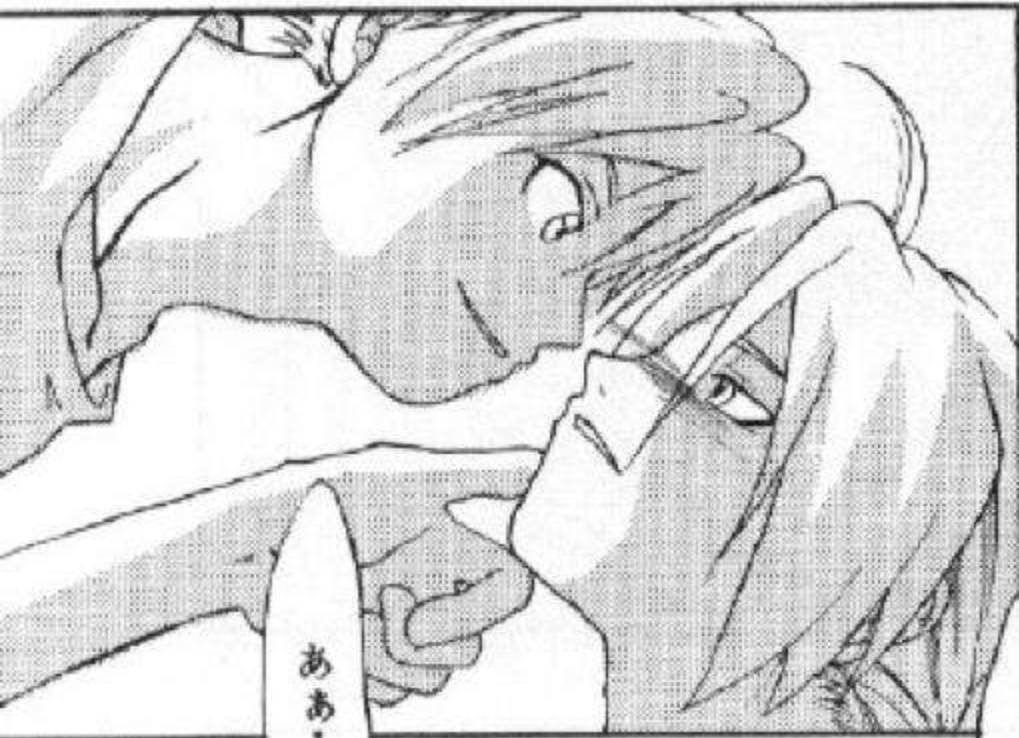
上手いよ
兄さん



そっす
そっす



ンツ…ん…



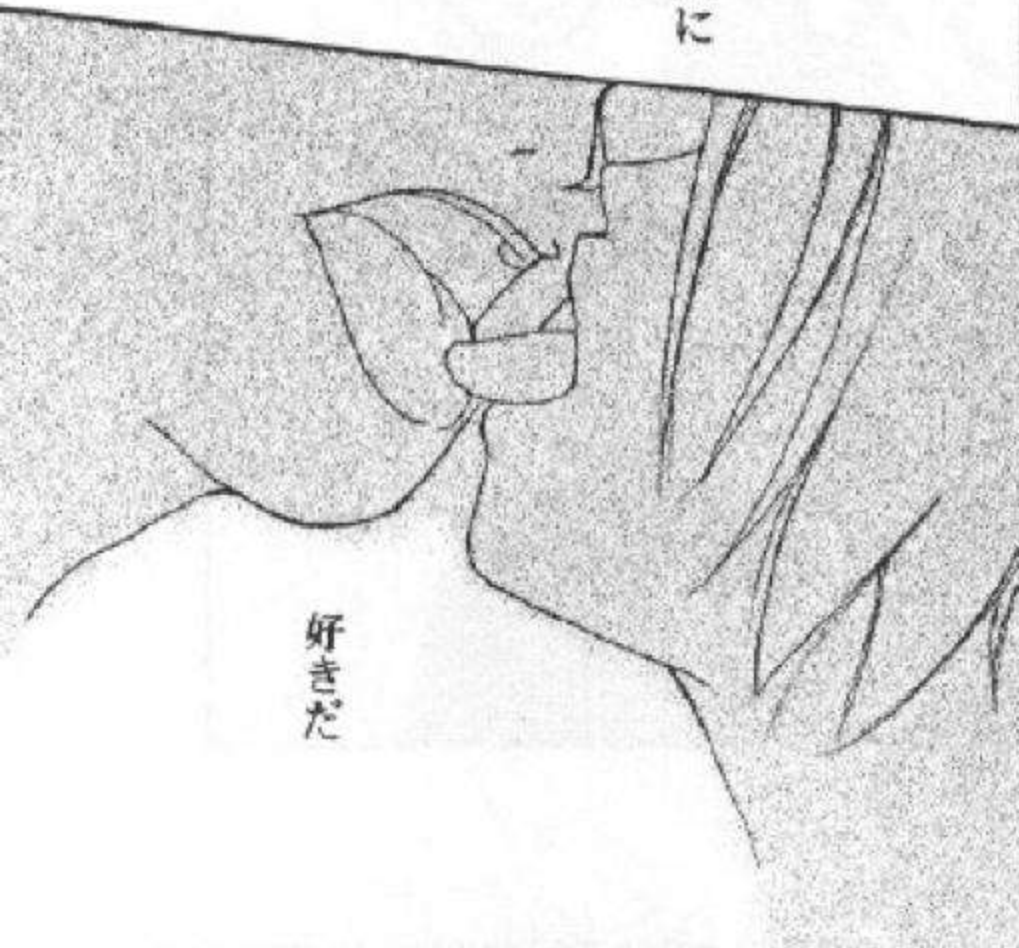
ああ…



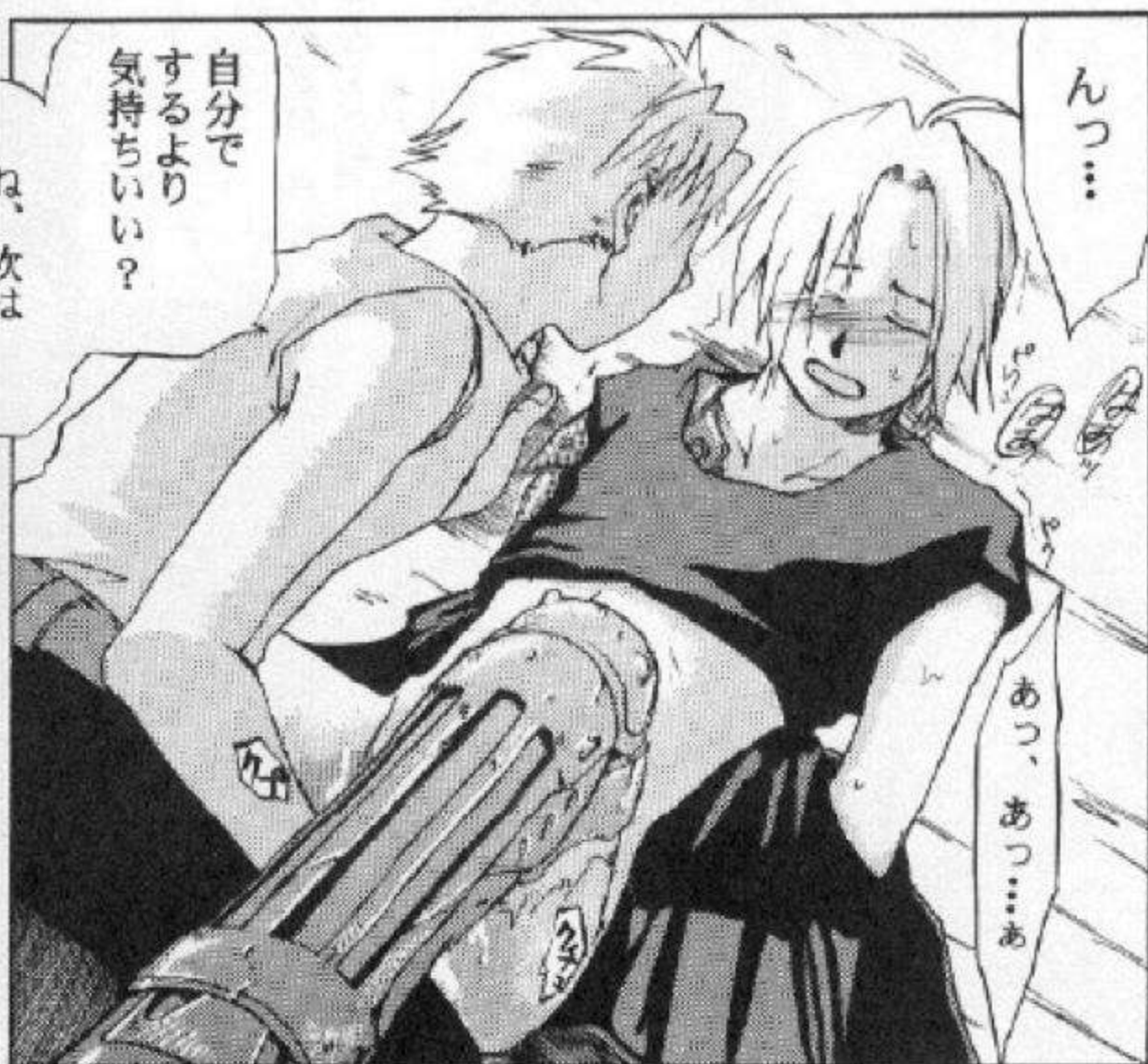
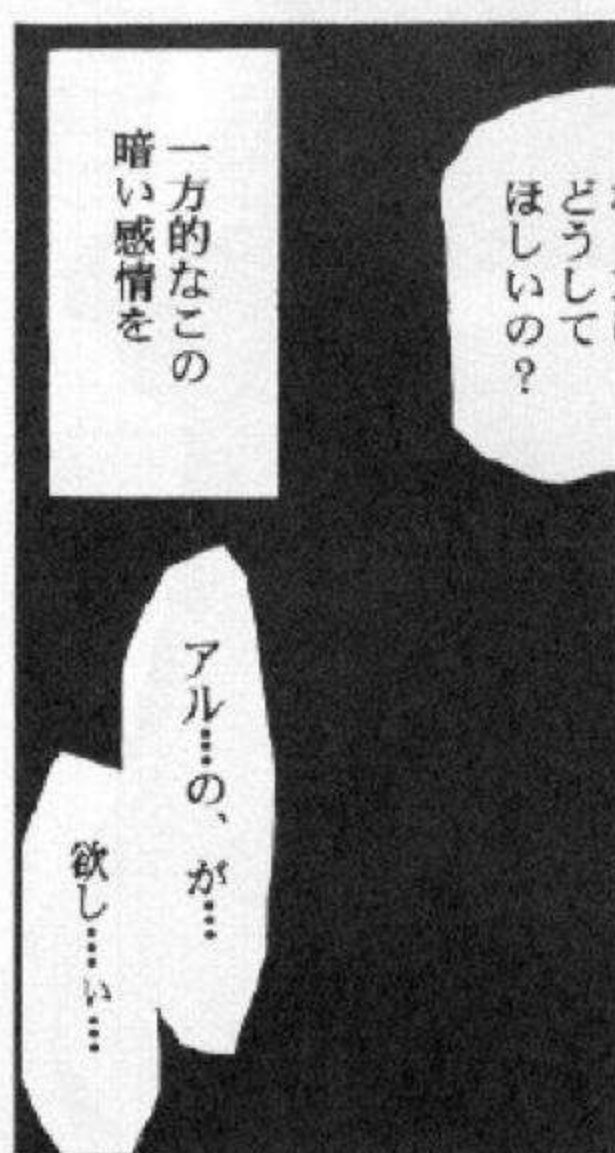
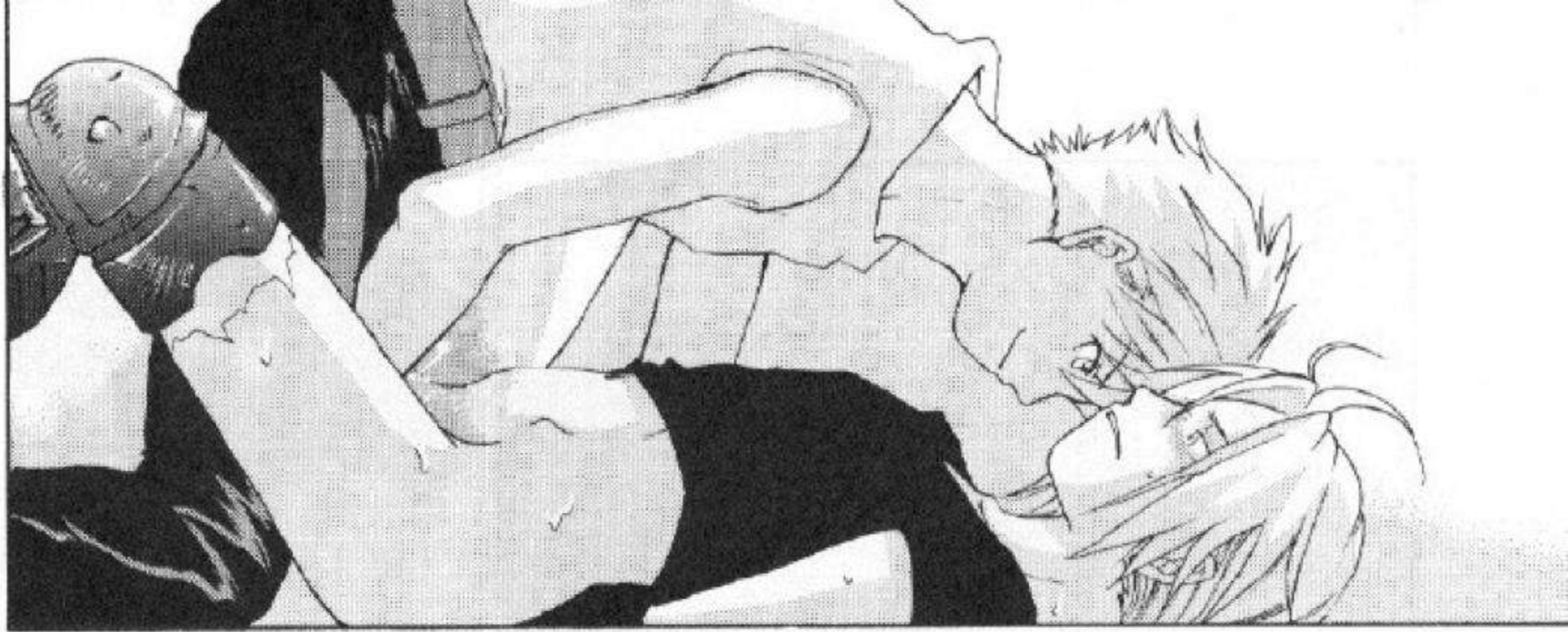
兄さんてば
エッチだなあ

ほんとに
ボクの事が
好きなんだね

気が狂うくらいに



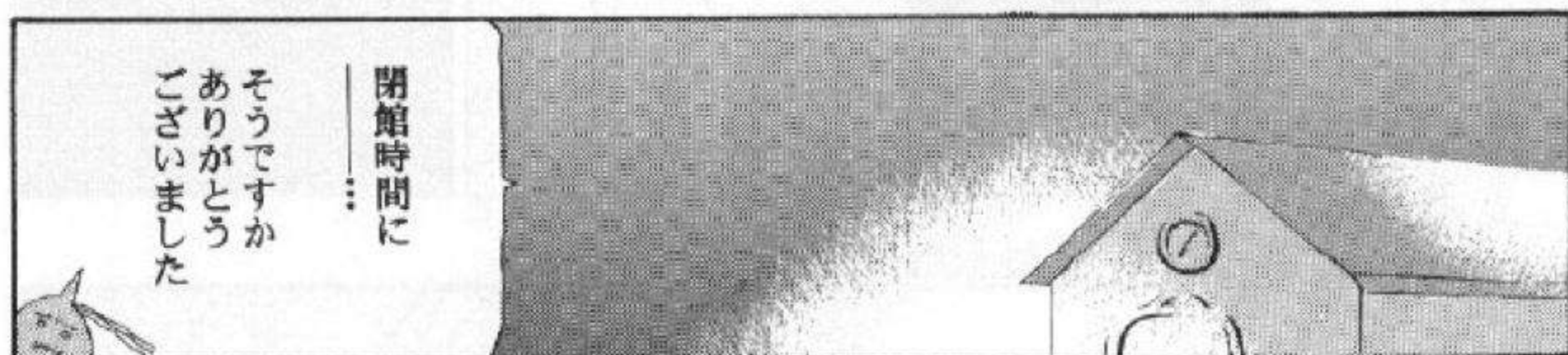
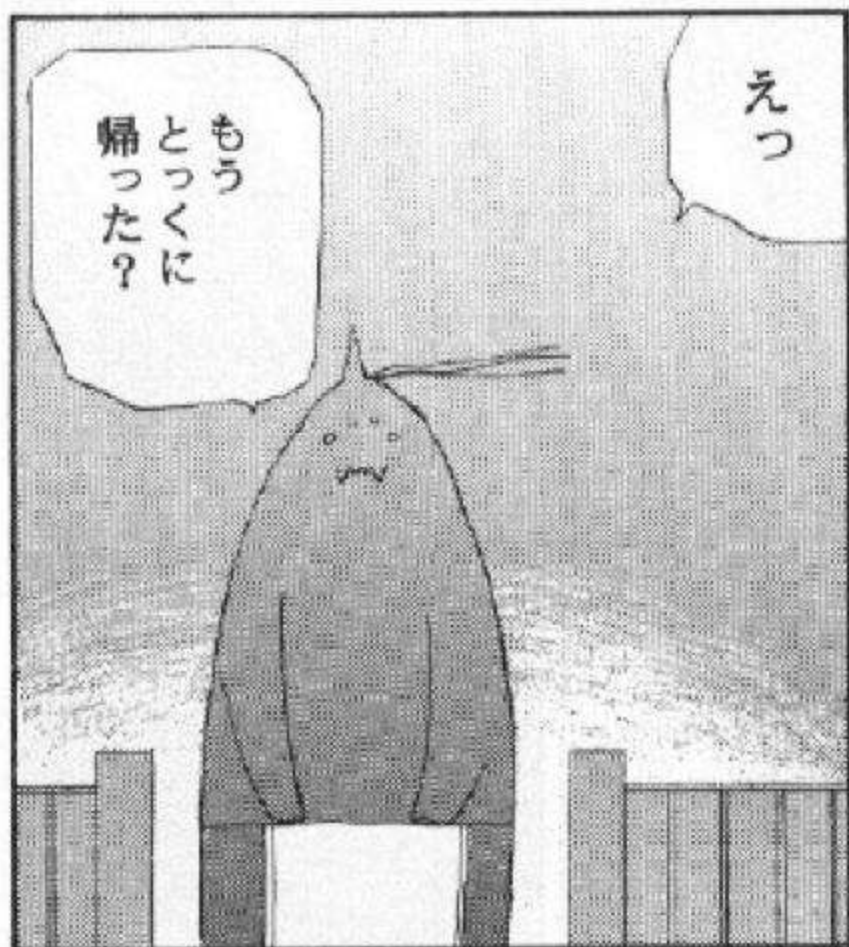
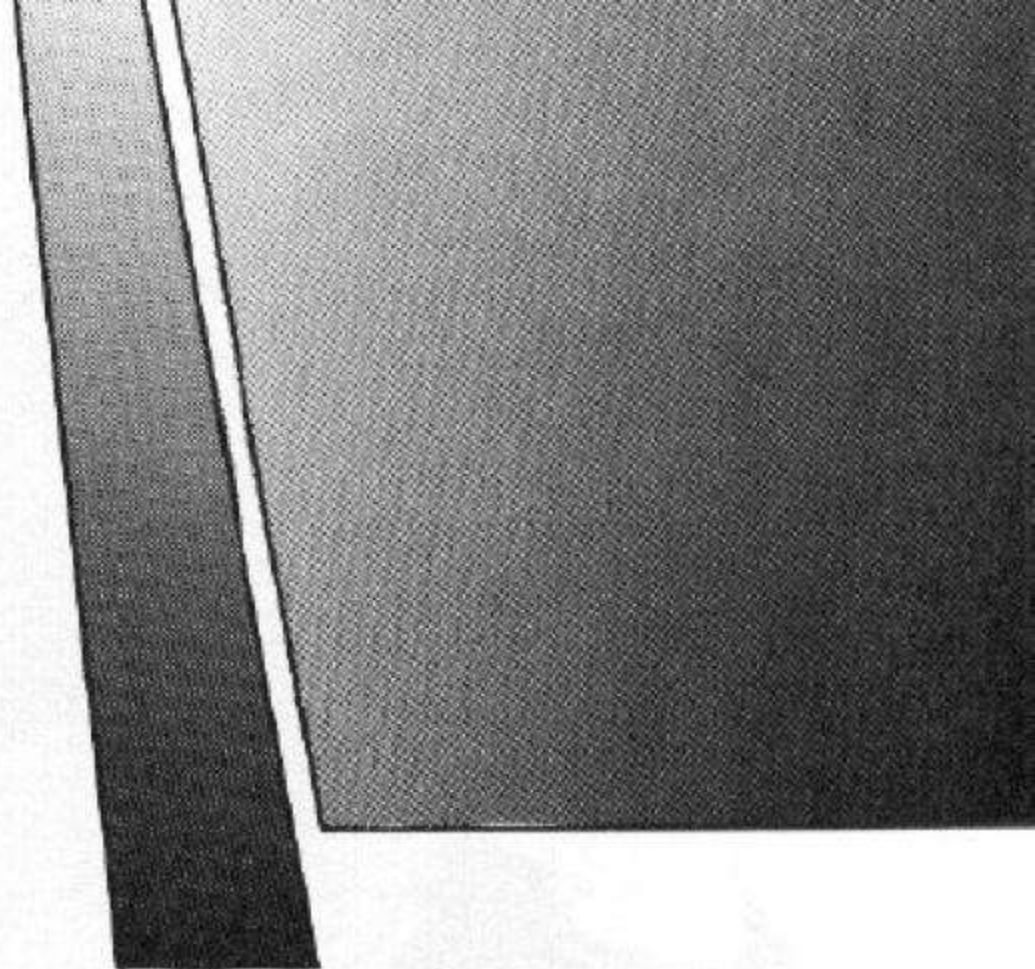
好きだ





今だけ

ごめん…



何だろう
この感じ…

すこく…
嫌な感じだ

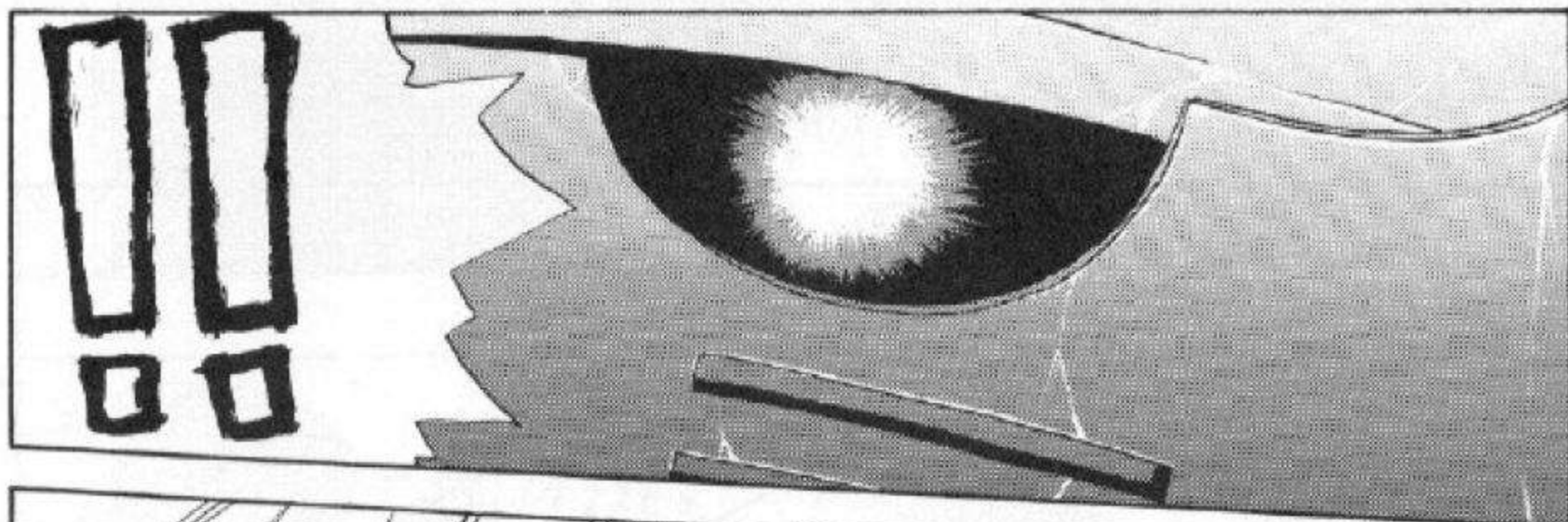
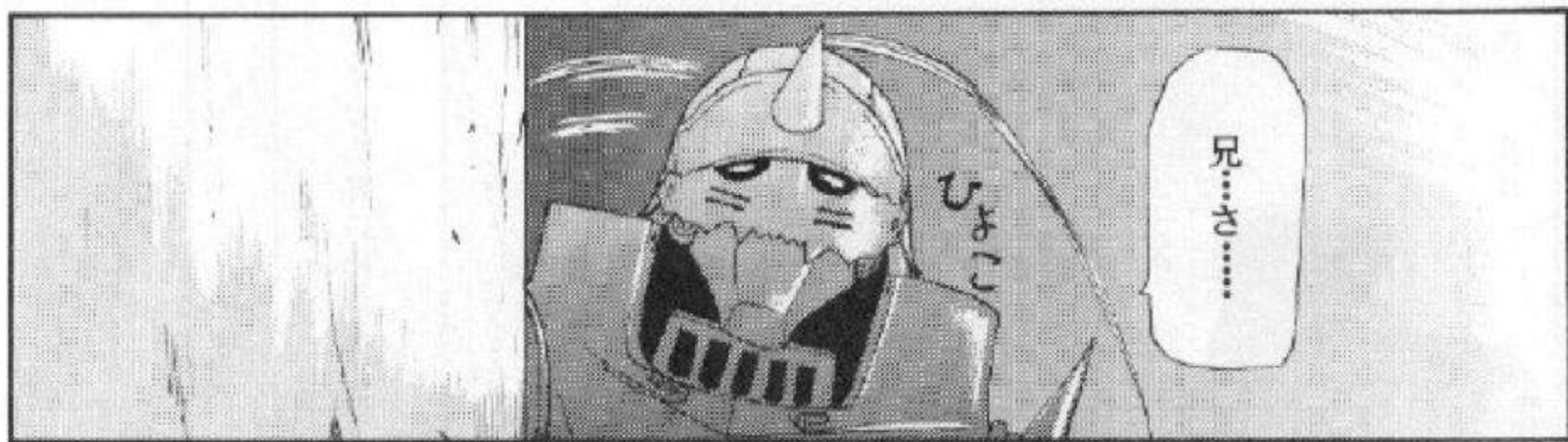
第6感で
やつかなあ

ボク兄さんの事
気にしすぎ…
兄さん？



兄さん
いる？





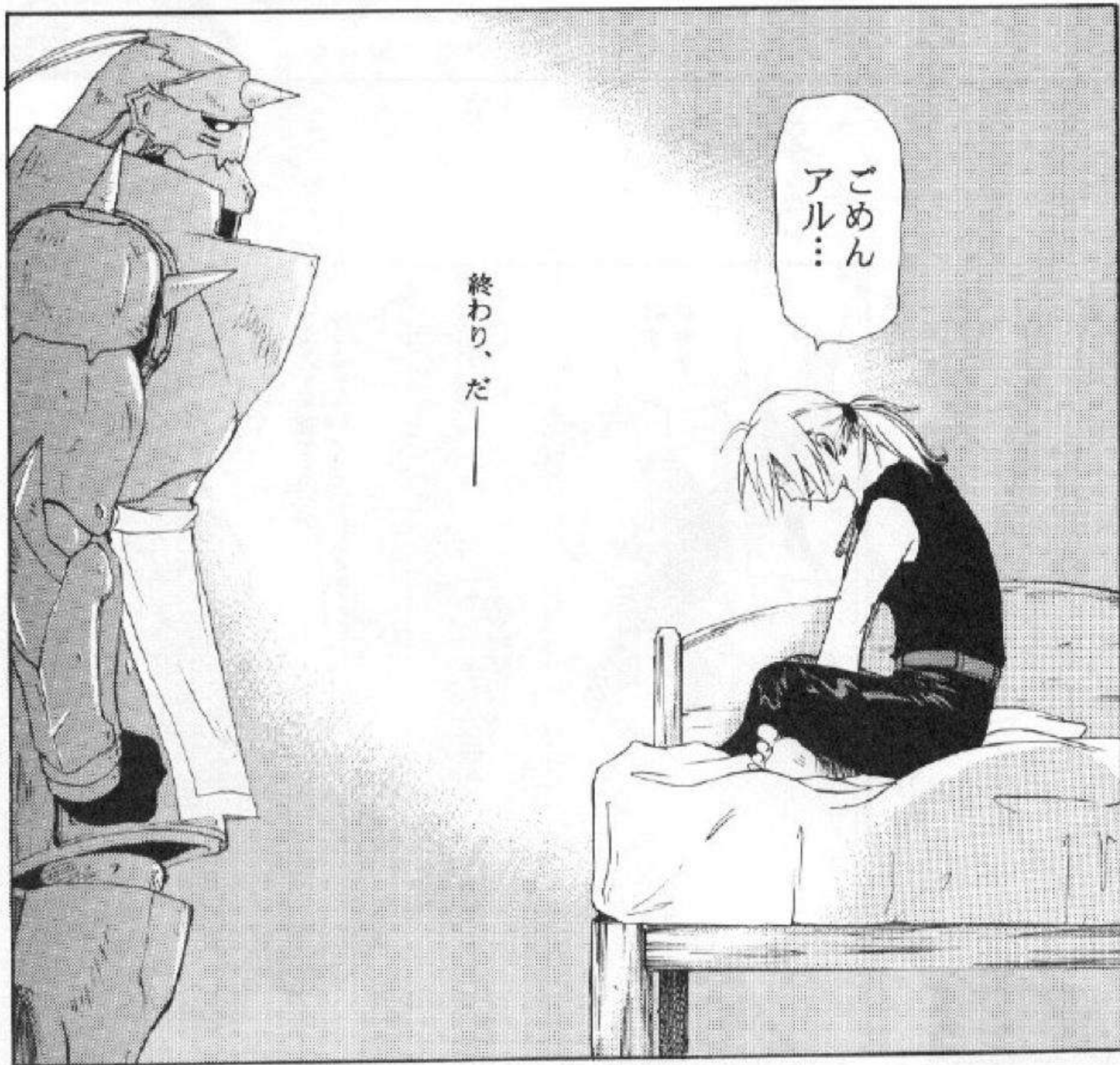


アイツの笑い声が頭に響く――



兄さん…
ケガ、とかは…
…ない……？

に…



え、えつと…
…その…
い、いつから…なの？
そ、その…
ボクの事を…
…そのう…



…
ごめん…オレ…
オレ…

…
…
…

1年？
3年？
5年？
…
わからない

ささいな嘘すら
出てくならくさ

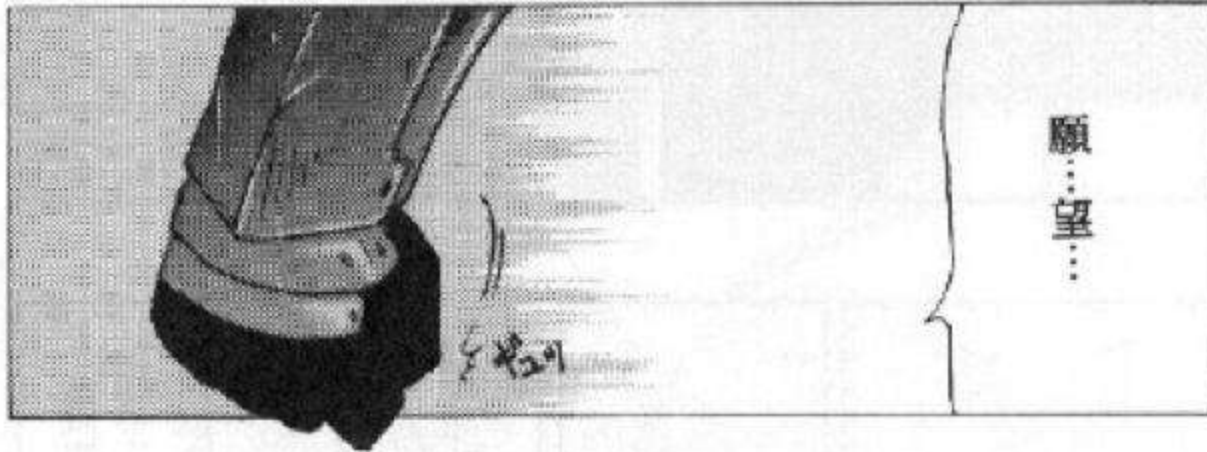
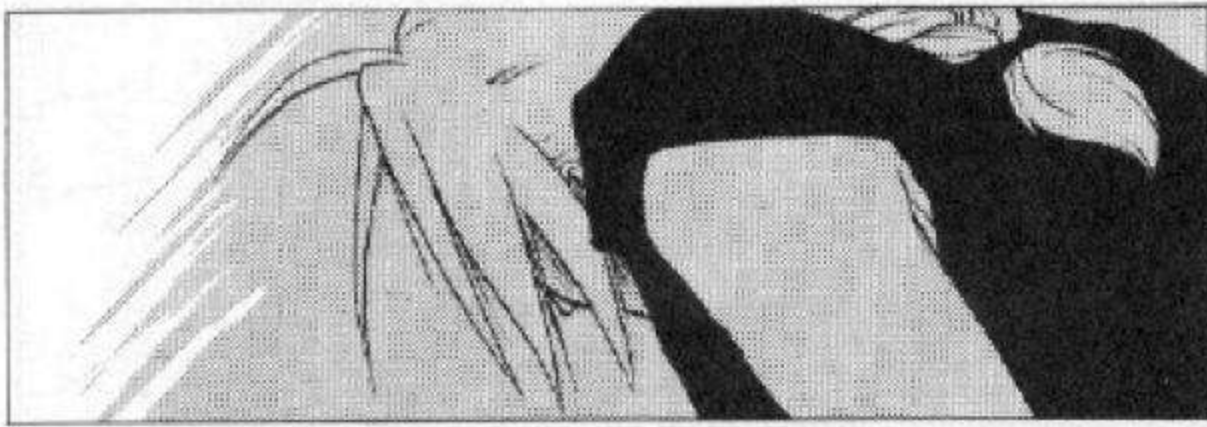
もう…ずっと好きだったんだ…

おや
おや？

なんで
2人とも
固まっちゃってんの？
アハハ

あーそっか!!





弟くんは

知らないんだっけね

お兄ちゃんの
願望をさあ

願...望...

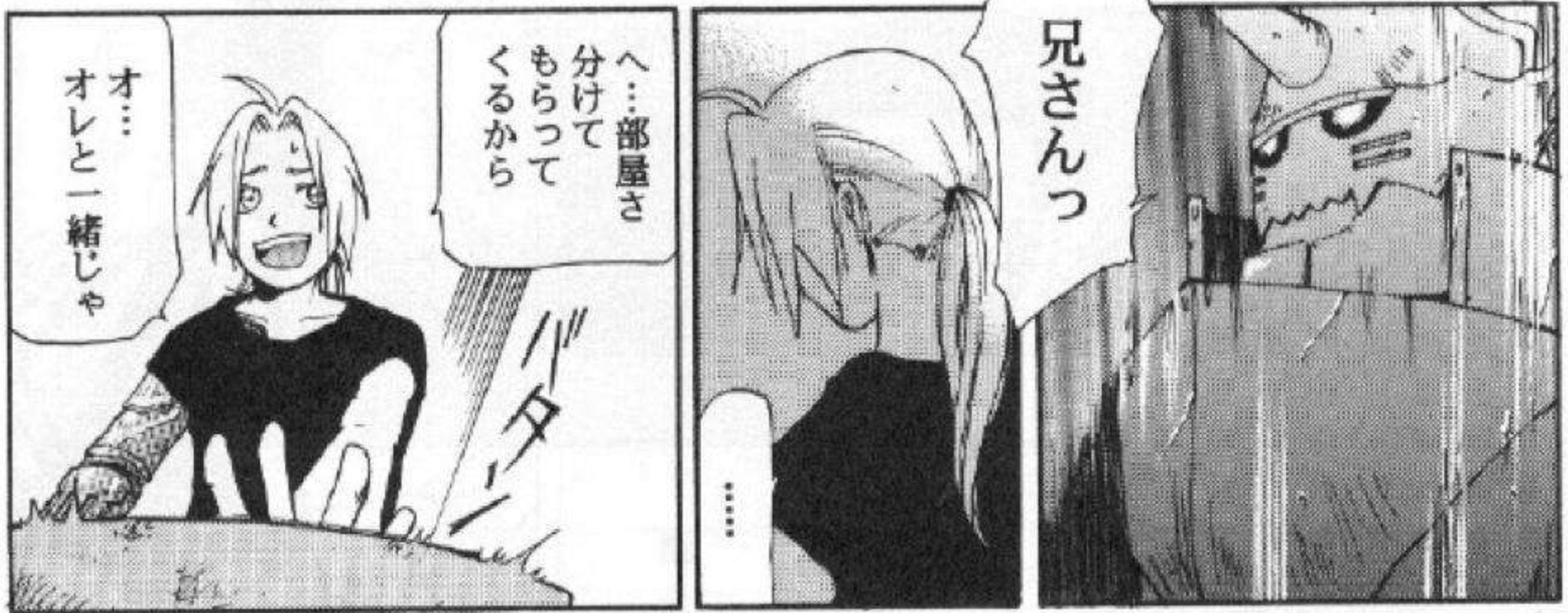
それが
何を指す
言葉なのか
頭の良い
弟は
すぐに悟った
ようだった



に、兄さん？
どうした
の...？



自ら壊した絆
自ら踏み込んだ
暗い...闇だ



オレと一緒じゃ

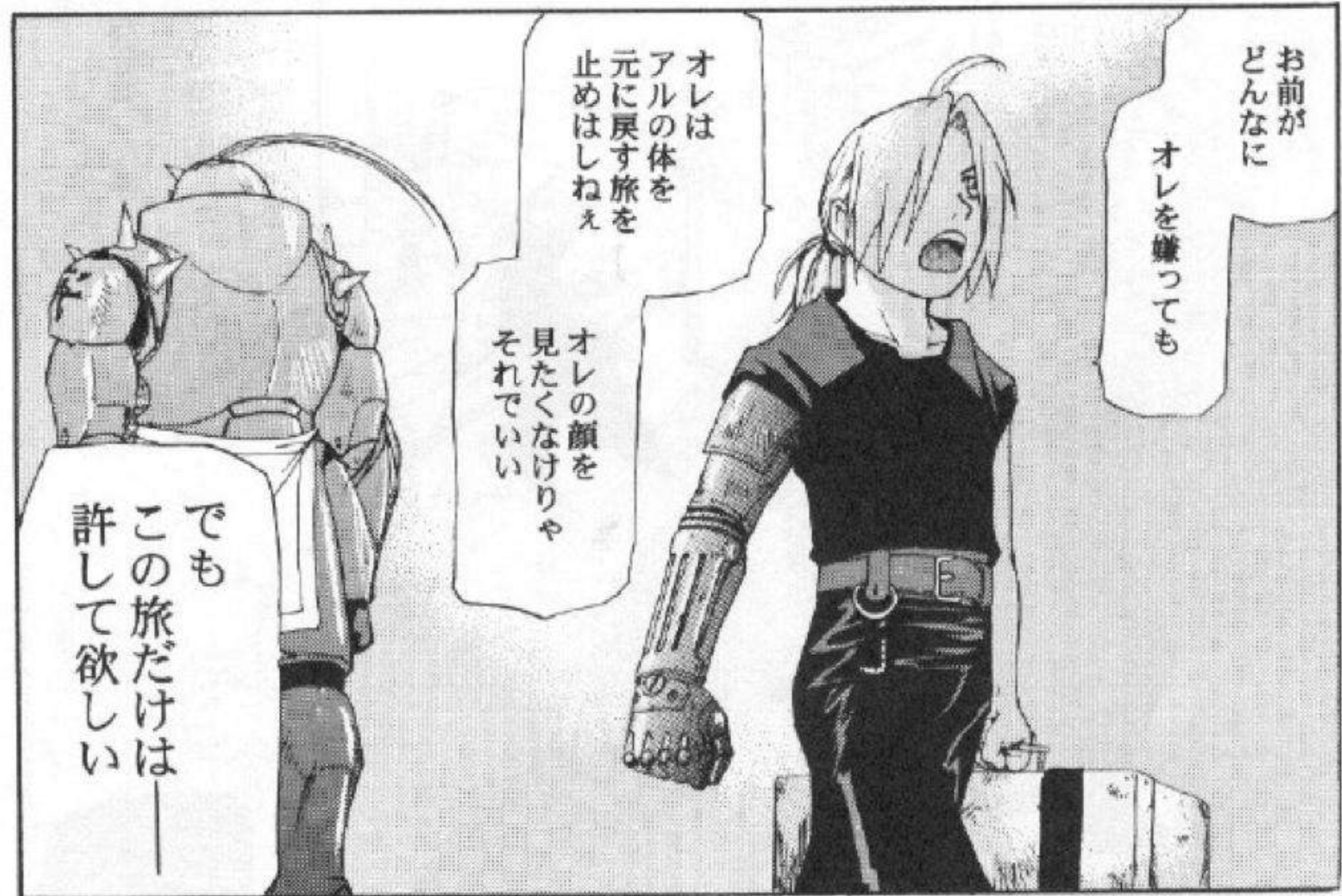
へ…部屋さ
分けて
もらって
くるから

兄さんっ



…アル

…気持ち悪い
だろ…



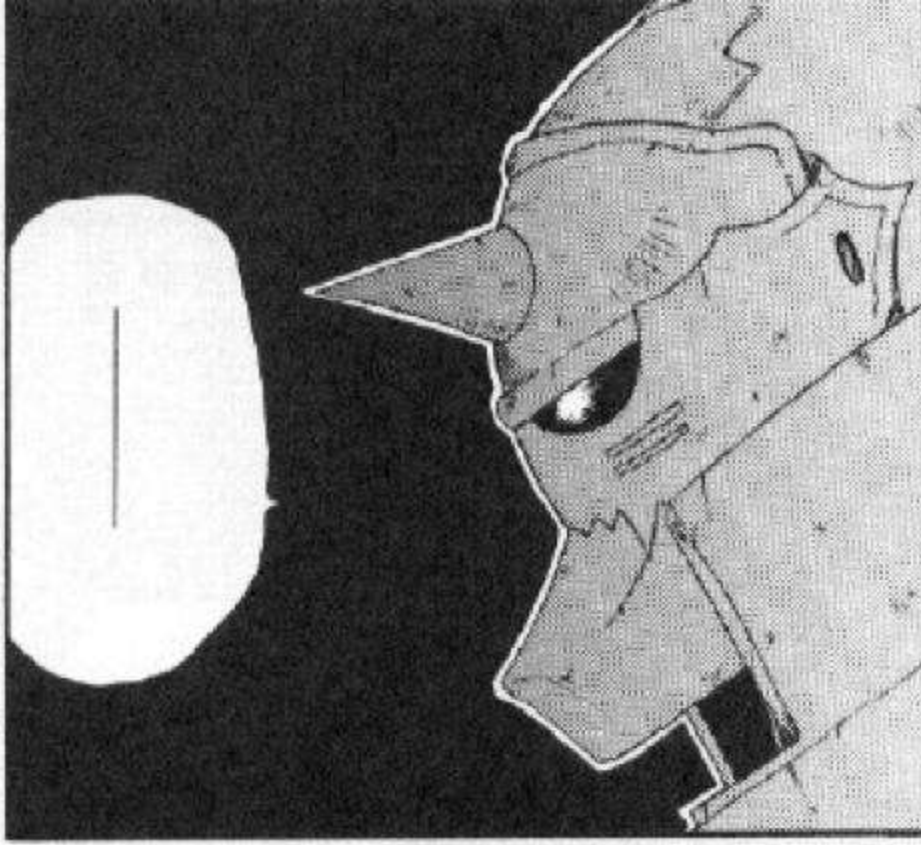
お前が
どんなに

オレを嫌っても

オレは
アルの体を
元に戻す旅を
止めはしねえ

オレの顔を
見たくなけりゃ
それでいい

でも
この旅だけは
許して欲しい

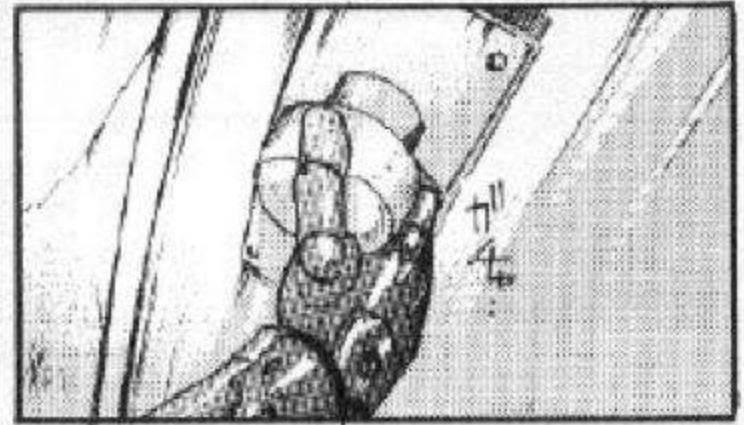


勝手ばっか言って
ごめんな



兄さんは
ボクの事が
好きなのに
ボクの事が
わかって
ないんだなあ

アル…



ボクが兄さんを
嫌う？
気持ち悪い？

顔も
見たくない？

一体どこから
そういう仮説に
辿りつくかなあ…

じた

はた

ちよつ…
ア、アルッ



まったくもう！

ポフ

.....



寝言は寝てから言つてよね

ちゅぽ

じたばたじた



もしボクが生身だったら

ボクの方が兄さんから侮蔑の言葉を浴びてたかも知れないんだよ？

…ボクね

？



生身の体じゃなくって良かった…って思つてた

兄さんの笑顔を見ていると早鐘みたいになりそうなの心臓の音が聞こえなくて良かったって。

兄さんに触れたら嬉しくて震えちゃいそうな指先を知られなくて良かったって。

兄さんを物欲しそうに見てる自分の視線に気付かれないで良かったって。

アル…



まだ体が
あつた頃には
感じた事が
ない気持ちなんだ



でもそう
思いながら
ボクはやっぱり
わからない

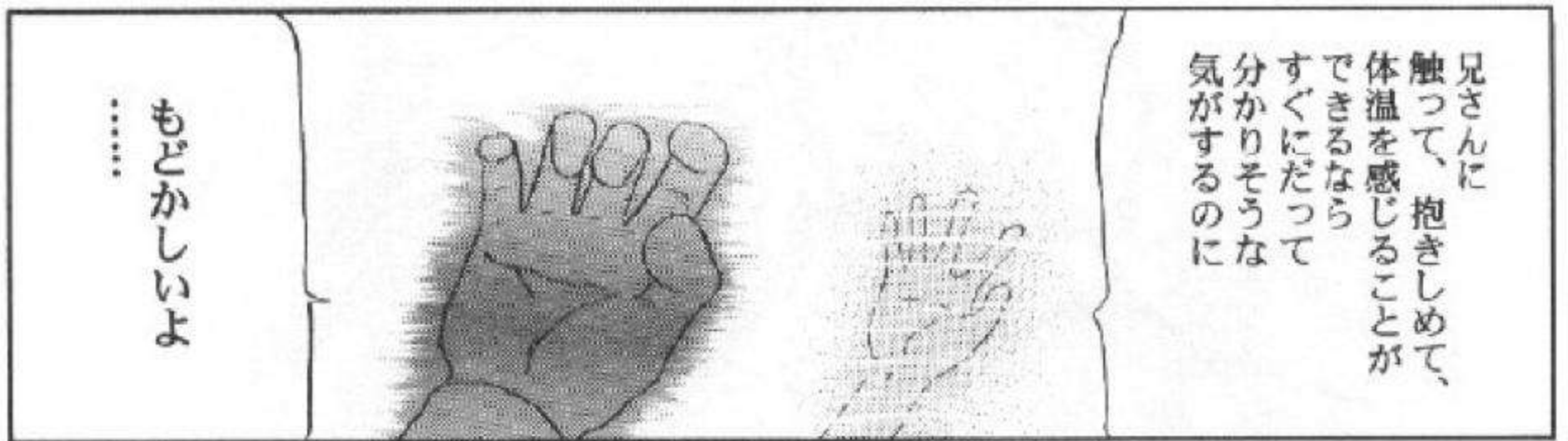
家族に感じる愛と
兄さんを感じる愛は
同じなのか違うのか

色んな
気持ち
が頭の中
だけで
ぐるぐる
回ってて



だから……
よくわからなくて……
自分の気持ち
なのに――

うん……



兄さんに
触って、抱きしめて、
体温を感じる事が
できるなら
すぐにだって
分かりそうな
気がするのに

もどかしいよ
……



ならば
2人で
暗闇から
抜け出そう

好きだよ
アル

兄さん

そして
心ゆくまで
たしかめ合おう

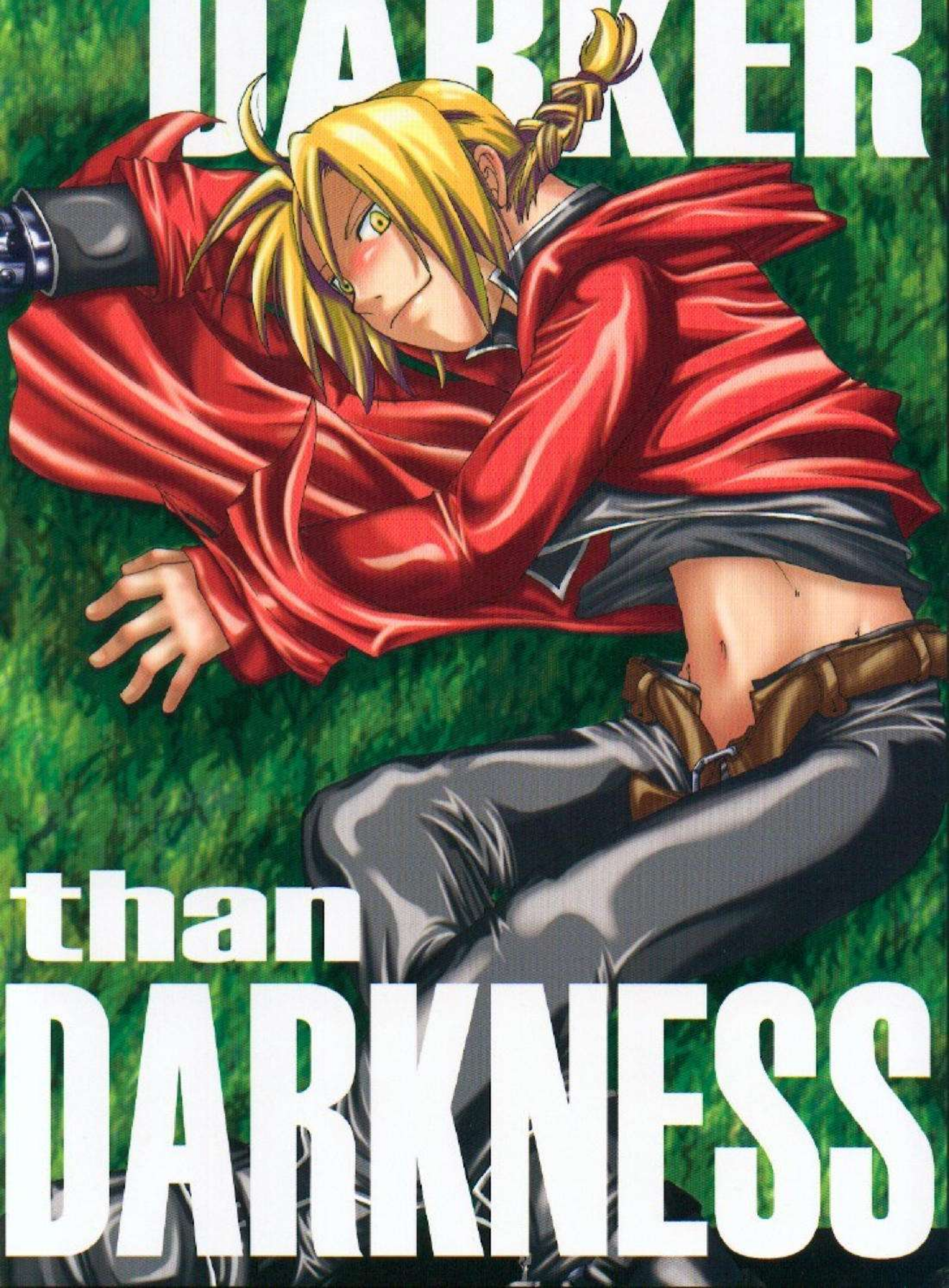




Jet Punch
presented by KAMACHI



DARKBIKER



than
DARKNESS